

川端康成流

愛犬家心得



エヴァーグリーン・
ドッグ・フィールド
代表 森 一彦



今回は文豪でノーベル賞受賞作家の川端康成が78年前に書いた「愛犬家心得」を紹介しましょう。

- ① 血統書ばかりでなく、親犬の習性を良く調べた上で、仔犬を買ふのは、愛犬家心得の一つである。
- ② 決して放し飼ひしないことは、愛犬家心得の一つである。
- ③ 犬を訓練所に入学させ、また、犬猫病院へ入院させるにも、預け先の犬の扱ひを良く知っておくのは、愛犬家心得の一つである。

- ④ 一時のきまぐれやたわむれ心から、犬を買ったり、貰ったりしないのは、愛犬家心得の一つである。
- ⑤ 数を少なく、質を良く、そして一人一犬を原則とするのが、愛犬家心得の一つである。

- ⑥ 犬も家族の一員のつもりで、犬の心の微妙な鋭敏さに親しむことは、愛犬家心得の一つである。
- ⑦ 犬に人間の模型を強いて求めず、大自らの命の現れとして愛することは、愛犬家心得の一つである。
- ⑧ 純血種を飼ふことは、愛犬家心得の一つである。

- ⑨ 病気の治療法を学ぶよりも、犬の病気を予知することを覚えるのが、愛犬家心得の一つである。
- ⑩ 先づ牝犬を飼って、その子供を育ててみるのが、愛犬家心得の一つである。
- ⑪ 犬を飼ふといふよりも、犬を育てるといふ心持をどこまでも失はないのは、愛犬家心得の一つである。

川端康成氏は「愛犬家心得」として上記の12の項目を掲げていますが、現在でも十分に通用する内容であると思います。そしてこの心得は、川端氏自身の反省として自己を戒める意味で書かれた物で

もあるような気がします。

というのは作家仲間の伊藤整氏が川端邸を訪れた時の文章があつて「昭和七年頃、川端康成氏が鎌倉へ越す前、上野にいた頃、その邸宅は犬の吠え声で大変だった。庭の中には何匹もの犬がいて、私たち外来者があると五色ぐらいの声で吠えだてた。呼鈴を鳴らしてから、主人か奥さんが出て来るまでの間は心細いものであつた。」こつ書いている位ですから、一人一犬どころか相当な数の犬を飼っていたに違いありません。その中には一時の気まぐれで購入したものもあつたようです。

また、犬を人にとえた記述で面白いものがあります。「女とさえみれば手に入れないと気がすまない男が、一生に一人か二人より抜きの女しか愛せない男よりも、より多く女のまことを知つてゐるとは言へないように、犬でも数をこなすのが必ずしも多情仏心に入るとは限らないのである。」又、川端邸には「犬屋」も出入りしていて、犬の取引も行つていたようです。素人がブリーディングで一獲千金を夢見ることは戒めております。

自身では「可愛い」ばかりの子犬を売るくらゐなら、原稿を書く。」とまで言っていますので、そのようにして書かれた作品も世に出ているのでしょうかね？

遊ぶ 学ぶ かかり合う...Wan倶楽部
Evergreen Dog Field
 ドッグラン・ドッグカフェ・飼ひ方相談
 福島県郡山市熱海町高玉字抜山1-1 磐梯熱海ICから約6分
 ☎024-994-0811 | エヴァーグリーンドッグフィールド | 検索
 福島県19郡保保第21号・訓練第5号(有) Evergreen Dog Field
 登録年月日H19年4月6日 有効期限の末日H24年4月5日 動物取扱責任者 森一彦